

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立長野高等学校 全日制の課程
取り組む課題	英語教育の充実
評価指標	英検準2級・2級の合格者数 G-TEC for students（スコア型英語テスト）における目標スコアの達成率
計画名	「英語による発信能力（話す・書く）」育成プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>英語教育、国際教育のさらなる充実を図り、グローバル化の進む21世紀をしなやかに生きる生徒を育成する。</p> <p>（1） 英語コミュニケーション能力のさらなる向上に取り組むとともに、論理的思考力・課題解決能力・探究力の育成を図る。</p> <p>ア 少人数展開を行い、アクティブラーニングの手法を取り入れた授業を実施することにより、一人ひとりが主体的・意欲的に取り組む授業を実践する。ICT 機器等を活用し、4技能をバランスよく伸ばす。英検・G-TEC等の試験を積極的に活用する。</p>
事業目標	<p>「読む」「聞く」「話す」「書く」4技能のうち、特に課題がある「話す」「書く」の発信能力を向上させるため、民間の英語教育関連会社（ベルリッツ）と連携し、共同で指導法および教材開発を行う。またそのための学習環境を整える。そして、幅広い話題について発表・討論・ディベートなどを行う言語活動を豊富に体験させ、情報や考えなどを的確に理解し伝える能力を高める。</p> <p>これらをもって、英検準2級・2級の合格者数を毎年5%ずつ増やすとともに、G-TECの目標スコア達成率を平成29年度に10%、平成30年度には15%、平成31年度には20%とする。</p>
整備した 設備・物品	<p>可動式机 12台 可動式椅子 30台 プレゼンター 6台 書画カメラ 3台 ホワイトボード一式 2面</p>
取組みの 主担・実施者	<p>首席、英語科全員、授業のあり方研究会メンバー（各教科代表者） 実施者：全員</p>
本年度の 取組内容	<p>可動式机と椅子、プロジェクター、ホワイトボードを完備したA Lルームを、通常授業及び放課後の「英語トレーニング講座」で活用し、アクティブラーニングを実施した。</p> <p>特に「英語トレーニング講座」では、4技能のうち「話す」「書く」を強化した内容で開講した。</p>
成果の検証方法 と評価指標	<p>①英検2級の合格者数：40人／準2級の合格者数：70人 ②G-TECの目標スコア（500点）達成率：20%</p>
自己評価	<p>①R1年度の英検の資格保有者は以下のとおり</p>

	<p>準1級：1人/2級：28人/準2級：65人……………（△）</p> <p>②G-TECに表れた成果は、国際教養科2年生の500点達成率93.5%、1年生は98.6%となった。また、普通科2年生の500点達成率は60.1%、1年生は65.7%であった。……（◎）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「英語トレーニング講座」については、講座終了後のアンケート結果によると「発信力がついた」と答えた生徒は84.6%であり、昨年度より数値は下がった。受講生徒も講師も昨年度と違っているため、単純な比較は難しく、英語で発信するトレーニングはできたと考える。ただ、特に指導法や教材開発につながる内容とは言えなかった。
<p>事業のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の4技能のうち、特に「話す」「書く」の発信力を高めるという目的については、この事業によりアクティブラーニングルームの整備が実現したことで、普通教室ではできない様々なアクティブラーニングを実践することができた。 ・特に、今年度末に姉妹校と連携して行ったスカイプによるライブ通信は、生徒のモチベーションを向上させ、学んだ語学力を発揮する良い機会となった。 ・英語教育産業を活用した発信力向上の教材開発に関しては、連携できる予算確保ができなかったため、実現に至らなかった。ただし、授業外で生徒の発信力を高める講座を開講したことで、G-TECの点数UPや英検の合格等にはつながったと考える。